

3年生の活動



9月30日は待ちに待った運動会。3年生は、それぞれのめあてを胸に臨みました。西小では、3年生から運動会の係を任せられます。3年生は、応援団と、放送係の仕事に一生懸命取り組みました。応援団の3年生は、初めてとは思えない動きのよさと大きな声で応援を盛り上げました。放送係は、明るい声ではきはきと競技の実況を行い、みんなにほめられました。すごいぞ！3年生。



3年生は徒競走のほかに障害走も行いました。その名も「運命の箱」。第1のくじ箱には、数字カードが入っています。書かれている数の分だけ、フラフープを持って走らなければいけません。第2のくじ箱にも数字カードが入っていて、書かれている数の分だけ、段ボール箱を重ねて持ちながら走ります。カードを見て「うわ！」「やった！」などつつぶやきながら、全力で走りました。1位になれた子からもそうでなかった子からも「もう1回やりたい！！」という声が聞こえました。



組体操もがんばりました。今年は1年生と組む3年生が多く、1年生を助ける先輩らしい姿が見られました。組むメンバーも技ごとによって変わることが多く、その度にあちらへ移動したりこちらへ移動したり…その場所を覚えるだけでも大変でした。それなのに、弱音を吐かず、最後までがんばった3年生は立派でした。保護者の方からも「感動しました。」というお声をいただきました。



運動会は赤組が優勝し、白組3年生の中には涙する子の姿も…。全てのことに全力で向かっていったからこそその涙だと思います。西小の子どもたちの胸には全員に「見えない金メダル」が見えました。めあてに向かって、一つになってがんばる西小の子たちにこそふさわしい金メダルです。この金メダルを誇りとして、これからも様々なことに全力で立ち向かっていけるでしょう。